

お月見

年少組の所に思ふまゝを記したれば、こゝには省く。輕

唱歌遊戯

視したわけではなく、年少組も重複する故の省略である
事を諒解して頂き度い。

第一週

唱歌 二回

長い夏休みを終へて、子供たちは休暇中の個々の生活から幼稚園の集團生活へはいつて行く時、「お友達と一緒に云ふ楽しみ、喜びを殊に強く感じるに違ひない。

お友達と一緒に楽しく今までに習つた歌を思ひ出しながら歌ふのもよし、又一人づゝ好きなものを歌つて、みんながよき聴手になるのもよい。

ふざけたり、きなる様な聲を出す事は、初めからの約束としてしない事にしよう。

お池の緋鯉(童謡唱歌名曲全集)

遊戯 二回

今までのおさらび。

第二週

唱歌 二回

雀のお宿(小學唱歌七十一曲集)

年長組の今頃になれば、一人でも歌詞、曲共に正しく歌へる様に、はつきり感えさせる事が必要である。殊更に發聲法を教へないまでも、姿勢を正しくして、よく口を開けてきれいな聲で歌ふ様に、そうしてこゝで息を吸ひませうと段々に正しい歌ひ方にまで導びく様にした
い。

時には子供たちが交代でコンダクターとなり、タクトを
まらせて歌つて見るのも面白く、それに依つてだんぐ
に拍子を理解する様になる。

遊戯 二回

雀のお宿(記事参照)

かけっこ(競争)

いゝお天氣に部屋に燻ぶつてるのは勿體ない。庭へ出てかけっこをしよう。樂しみな運動會もある事だし、リレーに、個人競争に、夢中になる。

第三週

唱歌 二回

練習。

遊戯 三回

日の丸行進(記事参照)

これは運動會用として、小學校低學年(一、二、三年)と幼稚園とが合同して出来るものを云ふ事で考へられた行進遊戯である。

小學生は日の丸の旗の周圍を表はし、幼稚園は旗の赤い丸を表はす。幼児は赤帽子をかぶり兩手に赤旗を持つて、四重圓位になり終始一貫右を向いて動作をしながら行進して居ればよい。一番外側の圓は年長組の子供にして、いつも圓が亂れない様に注意してゐなければならぬ。

(但し内側の圓は少々亂れてもそんなに見苦しくはない。もこ〜日の丸を塗りつぶすわけだから。線を引いておいても子供たちは周圍の小學生に見まれたり、見物席を眺めながらしたりするので、外へ〜と段々に擴がつて大きな圓になつてしまふ。「線の上を歩きませう」と度々注意する必要がある。

小學生の方は白帽、白旗。(又は日の丸の旗)

最初の體形は、幼稚園を中心にして四方に圓形に列ぶ。三回位その體形で行進し、「丸をきけ」と云ふ合圖で四つの圓は先頭からだん〜に丸を解いて四角な線上を歩き、全體で一つの大きな旗の周圍の輪廓を形作るわけである。

小學校と合同にする關係上、別々に練習する場合でも、號令は總て小學校と最初から同じ様にかけて練習しない。ミ、一緒になつてした時に惑つてしまふ。幼稚園では最初は一組づゝ練習をし、次には二組、三組、全體一緒と云ふ様にして、ミにかく數多く練習の機會を與へなければならぬ。

お天氣のよい日には、太鼓、オルガン、ハーモニカ等を

持出して外で練習する方がよい。

雀のお宿

雀のお宿 戸倉ハル氏振付
小學唱歌七十一曲集

準備 圓形を作り内方を向く、

一、スズメノオヤドノタケヤブニ

兩手を左右にひろげ羽の様に上下に動かし乍ら圓周の上を右方へ歩いて行く。

オキヤクガアルノカニギヤカダ

止つて圓の内方を向き、右足を高くあげ左足でさび、同時に手をうつ、次に左足を同様に行ふ、こうして、右、左、右、左、さ行ふ。

オヤコノスズメガコエゴエニ

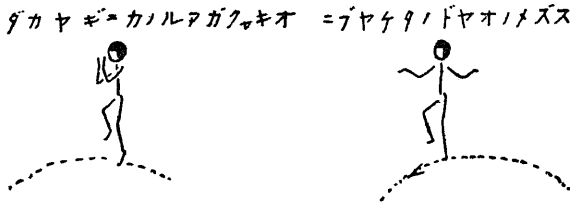
兩掌を口の所にもつて行き話をする時の様子をし、顔を右方の隣の者に見合せて話をする、次に左の者さ、次に右の者さうたに合はせてする。

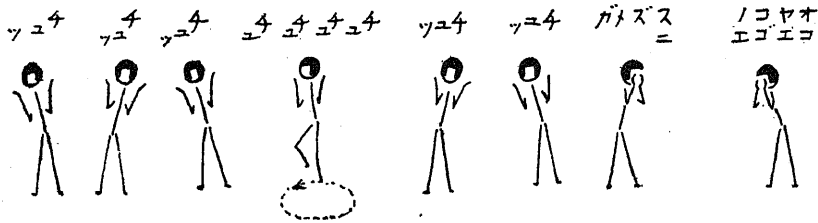
チュ チュ

兩掌を肩のミどころに持つて行き掌を圓の中心に向ける様にひろげ、上體をやゝ右に傾け、次に左に傾ける。

チュ チュ チュ チュ

手は前の動作のまゝ自分の周圍を一まはりする。





チュ チュ チュ

前のチュ チュと同じ動作を、右、左、右、ミ行ふ。

二、スズメノオヤドノタケヤブニ

一番ミ同じ。

オキヤクガアルノカオホサワギ

一番ミ同じ。

オホゼイイッシヨニ

皆肩をくみ合はせて圓心に向ひ歩いて行く。

コエアゲテ

拍子しながら後にさがる。

チュ チュ チュ チュ チュ チュ チュ チュ チュ

一番ミ同じ。

日の丸行進 東京女高師附小作
ラチオ體操曲

準備、日の丸の周圍の四邊になる組は日の丸の旗を、圓の部分になる組は赤い旗を兩手に持ち夫々指定の位置について待つてゐる、右向けの號令で右を向きはじめの四小節間の曲を聞いて後、初めの號令で行進をはじめ。

第一小節

日の丸行進

両手を胸の両わきに持つて来て行進する。

第二小節

両手を上にのぼし行進をつづける

第三小節

両手を横にのぼし行進する。

第四小節

第一小節と同じ。(胸に)

第五小節

両手を前にのぼし行進する。

第六小節

第二小節と同じ。(上に)

第七小節

第三小節と同じ(横に)

第八小節

両手も下におろし行進をつづける。

第九小節

第一小節と同じ(胸に)

第十小節



第一音で横に、第二、三音で下に、第四音で上にのびし行進をつゞける。

第十一小節

第一小節と同じ。(胸に)

第十二小節

第三小節と同じ。(横に)

第十三小節

手を下におろし同時に停止する。

第十四小節

停止したまゝ手を上にのばす。

第十五小節

やはり停止したまゝ第一音から第四音までは、手を横に、第五音から八音までは上にする。

第十六小節

停止したまゝ第一音から第三音までは手を横に、第四音で手を下にする、次に第一小節に戻るに同時に又行進がはじまるわけである。

日の丸が構成出来るまで何回も揉かへして行ふ。